

みなさんとごいっしょに 実現できました。

- ▼ 市民の目線で、税金の使い方をしっかりチェック
- ▼ 調査、研究、国・県との交渉をもとにした、道理ある提案
- ▼ 地域の要望や生活相談に、親身な努力

5期 20年の 豊かな実績

から、近年の主なものを紹介します。

- 学童保育を小学校5校で実現。父母といっしょに市に働きかけ、夏休み、冬休み、春休みにも実施することになりました。
- 石動中心商店街の片側交互駐車を実現。
小矢部商工会など関係者の努力が実ったもので、NHKも全国ニュースで報道しました。
日本共産党も砂田市議を先頭に毎年国、県へ働きかけ、2000年10月には通産省（当時）で「国の補助を受けて街路の拡幅、店舗の移転新築を行なった。その事業目的が生きるよう駐車禁止解除について警察庁に働きかけてもらいたい」と交渉しました。これに対して通産省は、「警察庁を含む関係省庁連絡会議で意見を言う」と答えました。
- 小学低学年（1・2年）での35人学級実現。
小学校1年の30人を超える学級に補助教員配置。
- 乳幼児医療費無料制度を小学校入学前まで実現。
曳山、獅子舞など伝統的文化財保護で助成制度新設。
正得保育所で0歳児保育、延長保育を実現。

2006年6月号外

発行：日本共産党小矢部市委員会
小矢部市七社245 ☎67-4322
日本共産党小矢部市委員会の見解を紹介します。

明るい小矢部

6月市議会に水道料金を値下げする条例（1トンあたり100円）が提案されました。可決されれば、8月請求分（使用期間6月21日～7月20日分）から値下げとなります。
「水道料の値下げを求める小矢部

市民の会」が昨年12月に1113分の署名を提出。今年の3月議会で大家啓一市長は、「真剣に検討したい」と言明しました。
単価引下げさらに要求
砂田喜昭市議は、「引下げは小矢部市始まって以来の快挙です。しかし、家庭用水道料金は平均的な家庭

で4千円余りから2百円下がる程度。今後は、県企業局からの割り当てられた水量と、単価のさらなる引き下げを求めていきたい」と話しています。
【砂田市議の話は、5月26日付け「しんぶん赤旗」記事から引用】

市、水道料引下げを提案

・家庭用基本料100円
・超過料金 10円 値下げ



日本共産党

小矢部市議会議員

すな た よ し あ き

砂田喜昭

- ・昭和22年生まれ
 - ・高岡工芸高校電気科卒
 - ・電電公社福野電話局勤務（5年）
 - ・日本共産党呉西地区生活相談室長（現在）
- 【趣味】もみじの鉢植え

税金の使い方を改め

市民のくらし・福祉を応援する市政を



砂田喜昭

小矢部市議会議員

みなさんの切実な願いをしっかりと届けます。

ごあいさつ

雇用情勢はいっこうに改善せず、医療、介護、税金の負担も増えるばかりです。その一方で国は米軍移転費に3兆円も出そうとしています。

私は、国民に負担ばかり強い小泉政治にたちむかい、市民のくらし、福祉向上にがんばります。平和憲法を守り、教育基本法を活かします。

これまで20年間、市民から寄せられた要望の実現に粘り強く取り組んできました。議会で毎回発言することはもちろん、市民のみなさんといっしょに署名運動をすすめ、議会のなかでも、一致する要求では他の議員との共同に心がけてきました。それがいくつも実っています。

こんどは定数3減です。これまでの得票数では議席に届きません。私はみなさんの期待に応えられるように全力でがんばります。大きなお力添えをお願いします。

みなさんと力を合わせてとりくみます。

くらし・福祉

- ◆ 県内でも高すぎる水道料金をさらに値下げへ
- ◆ 介護保険、障害者福祉に市独自の助成制度を
- ◆ 高齢者向けの低家賃住宅を市街地に

子ども・教育

- ◆ 少人数学級の実現で、ゆきとどいた教育を
- ◆ 子どもの医療費を小学校六年生まで無料に
- ◆ 北陸中央病院小児科・産科・耳鼻咽喉科の再開を

まちづくり

- ◆ 下水道計画を見直し、散居村では市営合併処理浄化槽方式で、全域の下水道化を
- ◆ 市有地を活用し、新しいスポーツ（スケートボード、BMX、パークゴルフなど）施設を
- ◆ 新幹線建設に伴い、並行在来線の存続、充実を


農業は市の基幹産業

- ◆ 主要な農作物の価格安定対策と農産物の販路拡大を

財源は…

税金の使い方を改め
市民のくらし・福祉を応援する市政へ

- ◆ 無駄づかいのチェック
- ◆ 綾子河川公園に7億5千万円投入の見直し
- ◆ 市長退職金の廃止
- ◆ 議員の海外視察の中止
- ◆ 議長公用車の廃止



学校の統廃合の是非は？

生徒数の減少傾向が続いており、学校の統廃合が検討されています。砂田喜昭市議は「日本の学級定数が40人というのは世界でも異常に多すぎる。世界中の先進国が少人数学級に取り組んでいるのに、日本だけがこれに逆行しているのなら、日本の将来が心配だ。これを改善し30人学級にすれば教員の定数も確保でき、小規模校化の問題も解決できる。」と強調しています。

保育所の統廃合、民営化は？

米軍基地内の中学校では18人学級を、日本の「思いやり予算」で実現しています。アメリカ兵の子どもは手厚く教育されるのに、なぜ日本人のためには30人学級ができないのでしょうか。

空き教室を地域の高齢者が集う場所として活用することも有効です。

行財政改革の名の下に、保育所の統廃合や民営化の検討が進められています。

近くの保育所がなくなったり、安あがりの保育になったりしないか心配です。

これらの問題にどう対処したらよいのでしょうか。

税金の無駄づかいを正し、教育・福祉を第一に考え行動する議員が、どうしても必要です。



署名運動に取り組む砂田市議